



みなさんの暮らしと
つながっています。

Vol.70

令和5年(2023年)
9月1日発行

はまだ 議会だより



6月定例会議

今回はこれがポイント!

総額5億8,522万円の補正予算を可決

6月定例会議では、市長提出議案12件、議会提出議案1件について審議しました。

浜田市人権を尊重するまちづくり条例は人権尊重のまちづくりを推進するために、あらゆる差別および偏見の解消を図り、すべての人がお互いの人権を尊重し、多様性を認め合う社会の実現を目指すものです。

令和5年度浜田市一般会計補正予算(第2号)の石見まちづくりセンター(仮)長沢サブセンター整備事業では、管轄面積が広い石見地区の拠点機能の拡充と防災拠点としてキヌヤ長沢店の敷地内に新規整備事業費として1億4,081万円(地方債1億4,070万円、一般財源11万円)が計上されました。

令和5年度浜田市一般会計補正予算(第3号)は、国(観光庁)の事業を活用し美又温泉、旭温泉の高付加価値化に向け、地域内の宿泊施設や観光施設が一体となって取組む事業として、2億7,867万円が計上されました。両温泉エリアの活性化に期待します。全ての議案を全会一致で可決しました。また、今定例会議も福祉環境委員会と産業建設委員会の委員会代表質問もあり、深みのある一般質問となりました。

トピックス

地域と官民連携で 美肌の聖地としての復興を目指す

美又温泉、旭温泉は、以前から美肌の湯として知られ、泉質の良さに定評があるものの、温泉施設の老朽化が進んでいることや知名度の低さから入り込み客数は減少しています。島根県を代表する温泉施設の再生に向け、地域内の4事業者が5施設の高機能化、高付加価値化を図るため、令和5から7年度に行う改修工事などに対し、観光庁の事業を活用し総事業費の6分の5を国、県、市が支援し、国民保養センター内の遊休施設の解体、外湯の整備、客室、風呂の改修、新規に簡易宿泊施設の整備を行います。温泉地としての魅力化を図り地域経済の回復につなげることを目的とした事業です。



かくれの里ゆかり

問 補助対象の施設のうち2施設の運営は、市外に本社がある事業所なのですが、地域経済への影響はありますか？

答 ①ほぼ全て地元での雇用となること、②発注に関して地元業者への発注を要望したところ承諾を得たこと、③地域と一緒に頑張って温泉地再生に取り組んでもらうこと、という3点が確認できたことを踏まえ、これらの施設への支援を行っていきます。



金城観光ホテル

にはどのような影響がありますか？

答 高付加価値の美肌観光、通常の宿泊、簡易宿泊という三つの選択肢で顧客のニーズに応えることができるようになり、宿泊客は増えるかと想定しています。

問 美又国民保養センターの改修で保有する施設が増えるようですが、運営はどうなりますか？

答 現在の指定管理終了後は複合的なプロポーザルで検討する予定で、3年後の運営は一本化を考えています。

元WBC監督栗山英樹氏 ひとづくり講演会開催

2023年WBCワールドベースボール・クラシック日本代表チームを優勝に導いた元監督の栗山英樹氏を浜田に招き、「ひとづくり特別講演会」が開催されることになりました。

問 講演会の主催組織や予算はどうなりますか？

答 主催は浜田市、教育委員会、浜田商工会議所、石炭商工会、浜田市体育協会、浜田市長会、浜田市PTA連合会などで行く「浜田市ひとづくり特別講演会実行委員会」です。

予算については浜田市ふるさと応援基金から250万円を拠出します。内訳は、講師料等事業費として200万1千円、会場借上料等事務費として49万9千円です。

問 今注目の講師をお呼びするのに、募集定員が600人程度とは少ないと感じますがどうしてですか？

答 講演会の開催に当たり栗山氏の多忙なスケジュールを調整していただきましたが、8月20日しか日程が取れないと言われました。既に石炭文化ホールは予約が入っており、その他市内施設や周辺施設を検討し、最も収容人数が多い県立大学講堂を確保しました。そのため、定員が600人となりました。

8月20日に県立大学講堂で、600人程度で無料開催します。栗山英樹氏の人材育成の考え方やマネジメント手法等について市民、スポーツ団体、まちづくり団体など各種団体のひとづくりが推進され



栗山英樹（くりやま・ひでき）
1961年、東京都生まれ。創価高校、東京学芸大を経て84年ドラフト外でヤクルトスワローズへ入団。89年にゴールデングラブ賞を獲得し、90年シーズン限りで現役引退。引退後はスポーツキャスター、白鷲大教授などを歴任。2012年に北海道日本ハムファイターズの監督に就任。2021年まで10年間、指揮を執りパリーグ優勝2度。2016年には日本一に輝き、正力松太郎賞を受賞。
2022年から野球日本代表「侍ジャパン」トップチームの監督を務め、2023年の第5回ワールド・ベースボール・クラシックで3大会ぶりの優勝を果たした。



議案等の 賛否の公開

4月臨時会議および6月定例会議で賛否が分かれた議案はありませんでした。各議員の賛否や反対理由、請願・陳情審査結果、討論などの詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

令和5年4月 ●臨時会議● 市長提出議案1件
令和5年6月 ●定例会議● 市長提出議案12件 議会提出議案1件

請願・陳情について審査しました 請願1件 陳情21件

請願の内容	提出者	結果
浜田市立原井幼稚園跡地払い下げに関する請願について	社会福祉法人浜田ひかり保育所 理事長 竹山 勝彦 浜田市原町	採択



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

浜田市議会はSDGs(持続可能な開発目標)を推進しています。
質問内容をSDGsの17のゴールで分類しています。



市政を問う

19人が
個人一般
質問



こちらから動画をご覧ください。



すべての人に健康と福祉を

熱中症予防の行動につながる情報発信を

周知

・総合防災訓練の周知
・アドバンス・ケア・プランニング（人生会議）の周知

（その他の質問項目）
A より多くの高齢者への周知は重要である。サロンの代表者への情報提供や、声掛けの協力を行っている。

Q 各地域で行われるサロン活動の場で、啓発チラシを配布することも有効と考えるが取組状況は。

A 予防のチラシやポスター、ホームページでの情報発信や、出前講座、健康教室で説明している。

Q 気候変動の影響により、国内の熱中症死亡者数が千人を超える年が頻発している。熱中症弱者と呼ばれる高齢者や慢性疾患のある方などに対する熱中症予防の取組は。



柳楽 真智子

「こどもまんなか」を浜田でも

A 対応可能と聞いている。

Q 済生会江津総合病院が分娩業務を中止され、医療センターで受け入れることとなっている。体制として問題ないか。

A 検討する。

Q 5カ月乳児検診以降、産婦および乳幼児との接点が減る。経済的支援とブッシュ型ケアの両側面から、ゼロ歳児を対象に、おしりふきの定期宅配を行っているかどうか。出生数300人で試算すると年間約650万円。まち（社会）が祝福の思いを伝える手段としても有効。

A 浜田市でも子どもに関する取組をさまざまに行っている。全ての部署において重要なテーマ。

Q こども家庭庁の設置など、国の動きをどう捉えているか。



三浦 大紀

地域医療の向上へ全力で挑戦せよ！

・人口減少対策

（その他の質問項目）
A 画期的システムと認識している。全国の動向を注視し、今後研究したい。

Q 看護士が医療機器を乗せた移動診療車に搭乗し、遠隔地診断システムを活用し医師の診断を行う「医療Maas」が評価されているが、導入の考えは。

A 以前産婦人科医院誘致に補助金活用の提案をしたが実現しなかった。今後全国の事例を参考に関係機関等と研究する。

Q 地方都市で開業医の減少が課題である。「開業医誘致推進事業」として、ふるさと納税を活用し補助金制度で効果を出している自治体もあるが当市も挑戦したらどうか。

A 以前産婦人科医院誘致に補助金活用の提案をしたが実現しなかった。今後全国の事例を参考に関係機関等と研究する。



川神 裕司

質の高い教育をみんなに

不登校の子どもたちが集えるフリースクールを



佐々木 豊治

- Q** 増加する不登校の児童生徒への対応策として、校内フリースクールを設置し、居場所づくりを早速に検討すべきと思う。前回も先進自治体の取組を紹介したが、岡崎市では今年度、中学校全校にフリースクールを設置目標とされている。
- A** 適応するのは生徒ではなく学校、「通常教室と同じ教室として扱う」などの取組で、不登校生徒が減少傾向にある。浜田市でも不登校の生徒が集えるフリースクール設置を検討すべきでは。
- A** 不登校の児童生徒が安心して過ごせる居場所を学校内につくることは大切と考えるが、担任を配置する余裕がない。ハードルは高いと思うが校長会などで意見を聞く。

市内にある約3万点の歴史資料の今後



川上 幾雄

- Q** 浜田市における、約3万点の歴史的資料の管理はどうするのか？
- A** 全部適切に管理すべきだがそこまで手が回っていない。究極的には全部適切に管理すべきものだろうと考えている。
- Q** 管理すべきものだが、その前には文化財としての評価が必要。この評価を担う部署はどこか？
- A** 教育部文化財係で保護法の目的を達成するため管理保護に努めている。
- Q** 文化財係は係長を含め3人。他にも存在する資料を含め可能か？
- A** 昨年から人員の増加を図り、本年も増員し整理に取組んでいく。
- Q** その整理をいつまでになされるのか？
- A** 計画中であり、今の段階では答えられない。

こどもまんなかの幼児教育を！



村武 まゆみ

- Q** 4月からスタートした幼児教育センターでどのような取組をしているか？
- A** 市内全園に説明をし、3分の2の施設が保育や園内研修にセンター職員派遣を希望している。
- Q** 子どもたちの力を伸ばす幼児教育が重要である。浜田幼稚園においてそれが行われているか？
- A** 道徳性や規範意識を意識しながら主体性を持つて遊び込むことができる環境設定に努めている。
- Q** 大人ファーストではなく子どもファースト、子どもの育ちを第一に考える幼児教育を進めてほしいが考えは？
- A** 公開保育などを通して、共に向上する研修を実施し、子どもの育ちを第一に考えていきたい。

働きがいも経済成長も

農業の補助制度 個人経営者への対応は



永見 利久

- Q** 農業関係の補助制度の対象は、認定農業者・新規就農者・集落営農組織である。個人経営者への対応は。
- A** 個人経営者へは、中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払交付金制度および最適土地利用対策等の制度を活用した取組の拡大に努める。
- Q** 担い手確保対策の兼業農家へのサポートの仕組みづくりは。
- A** 他市の事例も参考にし、JA営農コーディネーターと仕組みづくりを検討する。
- Q** 農業用機械整備事業は終了した。それに代わる畦畔などの草刈り機や、その他機械購入支援は。
- A** 畦畔維持や作業の省力化のための機械購入は必要で、支援策は検討する。

働きがいも経済成長も

あさひ矯正施設の民間活力の継続を！

Q PFI方式での官民協働の運営が行われている島根あさひ社会復帰促進センターの施設運営の入札が来年の春までに公示される。運営方式の変更による民間部門の見直しから民間職員265人の雇用と地域経済への影響を懸念するが認識を問う。

A 開設により新たな雇用の創出や税収入、消費拡大など多くの波及効果や出生数の増加によるにぎわいがもたらされている。地域との共生による連携取組で「文通プログラム」や「椿」の栽培、「コッペパン」学校給食提供など行われ、地域活性化にも大きく貢献されている。引き続き民間活力の運営と雇用の維持を要請するなどして、情報収集、提供を図りたい。



岡本 正友

浜田を自慢できる観光振興を

Q コロナ後の戦略は？

A 「石見神楽」「温泉」「食」を核に誘客を目指す。

Q 誘客の重点地は？

A 特に定めていないが客数の多い「アクアス」や「豊ケ浦」などの海浜エリアを考えている。

Q 「食」の魅力としての「はまだお魚市場」は重点地ではないのか？

A 当然、重点地である。

Q 誘客の重点地へ誘導する道路上の案内標識に不適切さや不十分さを感じることが改善の必要性は？

A 国県と協議するためにも指摘部分も含めた見直しに向け点検する。

Q 聖地巡礼が盛ん。他地域同様に映画「天然コケッコーロケ地」看板を山陰道沿いに設置しては？

A まずは適地がないか調査してみたい。



大谷 学

産業と技術革新の基盤をつくろう

水稻栽培、中干し延長の普及を

Q 政府は温室効果ガスの排出削減は、中干しの延長期間を延ばすことが有効だとし、農家の取組を後押しする仕組みを整えると聞くが市の考えは？

A 温室効果ガスの排出削減量を「クレジット」として国が認証し、取引を可能にする「クリークレジット制度」の新たな方法論として、中干し期間の延長が承認された。

Q 「クリークレジット」制度は、農家の収入源にもなるようだが、制度の詳細は？

A 温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度で、認証した「クレジット」を売却し、収入を得ることができ、農家の収入源にもなり得るので、導入に向け検討する。



串崎 利行

次世代エネルギー、水素関連企業の誘致を！

Q 政府は6月に水素基本戦略を改定した。これをチャンスと捉え、浜田市に水素関連企業の誘致を図り、若者の流出を防ぐ所得向上の手段としては？

A 政府は今後15年間で官民合わせて15兆円を投資する計画として、水素の供給量を今の6倍に拡大する方針とされた。水素は二酸化炭素を出さない次世代燃料として期待され、火力発電所、燃料電池自動車の燃料として活用が想定されるとともに、水素を原料としたアンモニアや合成燃料などの生成にも期待される。

浜田市としても可能性があれば、誘致したいと思う。ただ、今のところ国と大手企業の実証実験段階であり、情報収集に努めたい。



肥後 孝俊

住み続けられるまちづくりを

路線バスに代わる持続的な地域交通を

- Q** 路線バス有福線全廃止の申し入れを受け、地元住民は、どのような方針が示されるか不安を抱えている。路線の存続を含め廃線となった場合の代替交通はどうか。
- A** 乗車人数が年々減少しているのに加え、乗務員不足を理由に存続は困難と判断された。路線廃止となれば地域住民の生活に影響を及ぼす。まずは減便での継続を要望する。その上で継続ができない場合は生活路線バスや予約型乗り合いタクシーなどを検討する。
- Q** 廃線の場合、市の独自事業である「あいのりタクシー事業」を地域と連携して進めるべき。
- A** 廃線となった場合は地域の意見を伺った上で交通の手段を検討する。



沖田 真治

石見交通有福線は存続を基本に考えるべき

- Q** 市民生活に不可欠な路線の廃止を簡単に認め、存続を諦めるべきではないのではないか。
- A** まだ道路運送法上の廃止手続きはされていない。地元説明会での声を踏まえ、存続の可能性の検討を依頼している。
- Q** 運転手不足解消に必要な待遇改善を国・県共に考える必要はないか。
- A** 県市長会などを通じて国・県に対し運転手を確保するため、事業者が実施する労働条件改善への支援を要望している。
- Q** 市長は石見交通社長と会い、住民の声を直接伝えて要望してはどうか。
- A** 減便してでも存続という方針を伝えていく。状況を踏まえ、直接頼みに行くことも考えている。まずは回答を待ちたい。



小川 稔宏

市民の生命・財産の保護は、どうするの

- Q** ミサイルにより4月には北海道周辺、5月には沖縄周辺にJアラートが発令され、皆さん肝を冷やされた。浜田市の場合どう対応するのか。
- A** 国からの情報が来ると市の行政無線などに連動し、市民の生命を守る行動を促す。次に、市長を長とした対策本部を立ち上げ、国・県と連携し、避難・救援などの対策を講ずる。
- Q** 今年度美川小学校などの新築事業があるが、シエルターを併設しては。
- A** シエルターは、望ましいが経費がかかる。
- Q** 市内にクマが出て大騒動である。慣れない市民を守る対策は。
- A** クマは山に追い込んだ。市民に注意喚起を促している。



牛尾 昭

市民の期待に応える市役所の体制づくりを！

- Q** 職員の中途退職者が多いが、対策はどうか。
- A** こころ3年は15人から18人と多く、業務の遂行体制に憂慮しており、職員が役所の仕事に魅力を感じ、やりがいを持てるよう努めたい。
- Q** トラブルやパワハラはないのか。健全な職場運営にどう努めるのか。
- A** パワハラ防止に努め、職員一人一人がお互いに人格を尊重し、パートナー意識を持てるような職場にしたい。
- Q** 多くの行政計画づくりが業務圧迫になっている。見直しはできないか。
- A** 法律で自治体に義務付けられた計画は、平成22年からの10年間で1.5倍に増加しており、総合的な計画とする行政のスリム化などを進めたい。



芦谷 英夫

住み続けられるまちづくりを

担い手、農地、集落維持対策は？

- Q** 高齢化が進み担い手不足による農地、集落維持が厳しい状況にある。今後の対策は。
- A** 水稲を中心とした農業では生産規模が小さく、収益性の低いことが担い手不足の要因となっている。解消するため、これまでの3果樹振興作物に加え有機野菜を追加し、もうかる農業の推進に取り組む。
- Q** 水稲から収益性の高い野菜への転換も簡単にはいかない。作業性の悪い農地区画や規模など、条件の悪い地域農地を守っている。農地（圃場）整備などの対策は。
- A** 農用地の保全や集落機能の維持に、国の事業をできるだけ活用し、地域や集落ぐるみの農業を推進する。



上野 茂

防災情報取得に「気象情報等リンク集」を

- Q** 市のホームページサイト「気象情報等リンク集」の効果は？
- A** 「気象情報等リンク集」には、雨雲レーダー情報、定点カメラ・雨量・河川水位・ダム放流情報、土砂災害、台風、地震、津波などがまとめてあり、円滑にサイト検索ができる。
- Q** この「気象情報等リンク集」を出前講座などにおいて、もっとPRするとともに、ホームページのトップに掲示することを提案する。
- A** 非常に有効な情報取得方法として周知する。
- （その他の質問項目）**
- ・身近な公園整備基本方針に係る防災意識確認
 - ・島根かみあり国スポ・全スポ」に係る施設整備に競技団体との連携と石炭灰の利活用の促進



村木 勝也

つくる責任 つかう責任

空いている居住空間の積極的活用を！

- Q** 空き家バンク登録数増に向けての現状課題は。
- A** 空き家が増加傾向にあり、大規模改修を要する物件も増。移住検討者に地理的条件や希望購入価格など選択肢を数多く提供し、促進を図りたい。
- Q** 空き家所有者への意向確認など現職員で手一杯ならば、地域おこし協力隊を活用する考えは。
- A** 登録件数が増えれば、職員の事務量も増える中で、空き家の掘り起し調査を職員がすることは難しく、地域おこし協力隊の活用は有効な手段。導入について検討する。
- Q** 浜田市管理住宅、教職員住宅など目的外使用や用途変更など緩和策は。
- A** 目的を妨げない限度で使用許可が可能。担当部局との相談と調整。



西田 清久

海の豊かさを守ろう

浜田港の利用促進と機能強化は必要だ！

- Q** 市長の韓国ポートセーリングの訪問内容は。
- A** 長錦（シノコウ）商船本社では、航路維持と取扱貨物量の増加に向け、週2便化を要望し、関係企業団体には浜田港活用のPRを行った。
- Q** クルーズ客船の寄港に向けた誘致促進策は。
- A** クルーズ業界に精通した外部専門員の協力と、インバウンド需要も見据え石見神楽を核とした戦略で、欧米系の富裕層をターゲットとした外国船の小型ラグジュアリー船を誘致する。
- Q** 浜田海上保安部の機能強化に関し、国に要望活動された理由は。
- A** 国は日本海側の海上監視体制の強化に取組まれるため、巡視船の増強などを要望した。



布施 賢司

委員会

代表質問

【委員会代表質問とは】

浜田市議会において令和4年6月から導入しました。個人一般質問と違い、委員会を代表する議員が委員会の総意として質問します。3常任委員会の専門性を生かし、委員会の行政視察や調査・研究を踏まえた、多角的な視点からの質問ができます。より厚みのある政策提案につながることに期待しています。

障がい者雇用推進に向けた就労支援の強化を！

小川 稔宏

福祉環境委員会



浜田障害者就業・生活支援センター

Q 障がい者の雇用対策の現状は？
A 浜田圏域自立支援協議会の専門部会である就労支援部会を設置し関係機関と連携し、障がい者雇用の推進を図っている。
Q 18歳から64歳の障がい者1,434人のうち働いている人、働いていない人の現状把握は？
A ハローワークで令和4年6月1日現在、浜田管内で234人。令和4年度の新規就労申込者数は196人と聞いている。
Q 就労支援部会では就労を希望する人の就労状況の把握や、相談機関に相談できない人の実情などは話されているか？
A 基幹相談支援センターや相談支援事業所との連携により適切な支援につないでいる。

Q 福祉部門と労働部門との連携や商工会議所との障がい者雇用推進に関する協定について考えは？
A 労働部門との連携ができていないので市の内部で図りたい。商工会議所から優良事業所の紹介を受けている。就職先拡大に向け連携を図りたい。
Q 市内の社会医療法人で取組まれている「伴走型就労支援」といわれるIPS手法の取組に対する市の関わりは？
A 令和4年度の障がい者就職の60・5%が精神障がいの方で、就労支援に大きく貢献されている。精神障がい以外の障がい種別への拡大も課題。就労支援部会でIPSの取組事例を紹介したい。
Q 重層的支援体制整備事業を活用した「地域共生社会」の実現に向けた取組について市の見解は？
A 相談支援を統括する体制が整わず、申請に至っていないが協議したい。

浜田の第一次産業の未来は？

田畑 敬二

産業建設委員会



弥栄町の圃場整備該当地域

Q 産業建設委員会では浜田市の基幹産業である農業関係者、漁業関係者、林業関係者と、現状と課題と問題点について意見交換を行った。
A 農業関係で、現在の農地（圃場）整備は約40年前に整備されたもので、生産性や効率性の面から大型機械に対応できない農地が多いが、市の今後の対応は？
A 圃場整備は土地改良法に基づき、農道や用排水施設などの基盤整備を行うものである。市においては弥栄地域の安城地区で約30畝、杵束地区で約26畝を計画している。
Q 水稲で時間がかかる水管理、畦畔の草刈り、鳥獣対策が人手不足である

が、市としての支援は？
A 水稲経営は生産者米価の低迷、農業資材の高騰などにより利益が出ない。集落営農組織間の広域連携を進めており、センチピードグラスの吹付け助成、ドローンによる防除などで支援している。
Q 林業従事者の人材確保が大変に難しいが、浜田市としてどのように取組んでいるか？
A 林業従事者確保については、令和元年度から交付された森林環境贈与税を活用し、木工職人の雇用や製材専門職の確保に努めた。人材育成として、技術研修や林業に関連する資格取得の補助を行っている。
Q 漁業者3人の方の聞き取りで、収入が安定しない現状があり、漁船の老朽化に伴い造船所や鉄工所もない現状認識はどうか？
A 県と連携して、認定新規漁業者への自立給付金の支給を始め、漁船・漁具の取得支援を制度化し、収入の安定化を図る。

市民対談

防災や見守りをはじめ、いざというときに互いに支え合う地域力の強化が求められています。第11回の市民対談では、地域の困り事の解決に向け精力的に取り組まれている金城町今福地区の活動について伺いました。

(インタビュアー：村武 まゆみ)



助け合おう精神を大切に

——今福まちづくり委員会はどのような組織構成ですか？

岩崎 町内会や地域団体代表者など31人の委員で構成されています。産業

振興部会、農地保全課題解決部会、交流・健康・福祉部会、防災・防犯部会、交通・見守り部会の五つの部会があります。——その中の「おてまや

世間話から生まれた今福おてまやさん
く支え合う、いま・福のある里づくりく

今福まちづくり委員会 会長 **岩崎 敏さん**
今福まちづくりセンター センター長 **遠藤 正嗣さん**

さん」はどんな活動ですか？

岩崎 交流・健康・福祉部会の中の活動で、主には高齢者世帯ですが、お手伝いが必要とされるご家庭などの草刈りや庭木枝切り、片付けなど、暮らしの中での困り事のお手伝いをしています。今年で15年続いています。

——活動を始めたきっかけは何ですか？

岩崎 公民館（現在のまちづくりセンター）は地域住民の集いの場、寄りどころでした。そこで世間話をする中で、困り事やアイデアを頂き活動が始まりました。補助金で背の高い脚立を購入したこともきっかけの一つです。

——おてまやさんとして活動される方はどんな



方々ですか？

岩崎 今福地区内の各町内会の方です。町内の方なので、頼みやすいし頼まれやすいと思います。今福地区は昔から「助け合おう精神」が根付いていたので、継続しているのだと思います。

——利用者さんは喜ばれ

ているでしょう。1人では大変ですものね。

岩崎 特に高齢者世帯から、「困っていた遊休農地の草刈りを相談したら、すぐにきれいに刈り取っていただき、大変助かりました」と喜んでいただいています。

ないものは自分たちで創る

——地域全体で助け合っておられるのですね。朝市もされていらっしゃるんですね。

岩崎 ないものは自分たちで創ろうと考えています。8年前に地域にあったスーパーが閉店したことから、「もやい市」という朝市を月に2回開催しています。また中山間今福もやいの会で月に2回お買い物バス「もやい号」を運行しています。自分で買い物をするということが脳を活性化するということが脳を活性化する介護予防にもなっています。

す。またシャインマスカット栽培プロジェクトチームやほっかほっか会というサツマイモ栽培をする活動もあって、地域の特産品を地域で学び、もうかる農業を目指しています。

——今福まちづくりセンターたより6月号でももやい市やおてまやさんなどの活動の様子を拝見しました。

遠藤 まちづくりセンターから地域の皆さまへ情報発信をしています。まちづくり委員会とは密接

楽しく未来へつなげる

——若い方の地域活動への参加が少ないという課題を抱えているところも多いですが、今福ではどうですか？

岩崎 若い男性のグループの「わかすけ」が各種のイベントを担当してくれます。また「ゆるり」という子育て世代の女性の活動もあります。子育てがあり一人では難しいけど、みんなと一緒にすることができるということ、手作りハンバーガーを作って、もやい市で販売するなど楽しみながら活動をしています。活動への参加を無理強いするのではなく、無理なく楽しく地域とつながっていくことを考えています。もやい市に毎回来てくれる県立大学生もいるんですよ。とても嬉しいですね。

——センターとまちづくりが一体となり、素晴らしい活動が展開されていますね。これから頑張ってください。

右：岩崎 敏（いわさき さとし）さん
浜田市役所職員、今福公民館館長、今福まちづくり委員会会長就任3年目。

左：遠藤 正嗣（えんどう せいじ）さん
島根県農業共済組合退職後、今福公民館館長、今福まちづくりセンターセンター長。

岩崎 今年11月に第39回地域づくり団体全国研修交流会島根大会が開催されます。浜田市の会場が今福で、活動発表もさせていただきます。全国の方に知っていただけることがとても楽しみです。これからもまちづくり委員会の皆さんで力を合わせていきたいと思っています。

前回この市民対談で紹介した浜田ろう学校中学部2年生の佐々岡希花（ささおか ののか）さんが7月に台湾、台北にて開催された「第1回 世界ろう者ユース選手権」の女子シングルスで優勝され、女子ダブルス、混合ダブルスでもメダルを獲得されました。日々のたゆまぬ努力あってのことでしょう。心から祝福します。おめでとうございます。



地域井戸端会を開催しました

地域井戸端会を5月から6月にかけて市内28カ所で開催しました。延べ200人の方にご参加いただき誠にありがとうございました。当日は、用意したテーマに基づいた意見交換や自由な意見交換などで、地域への思いや課題を住民と議員が情報共有しました。

＼いただいたご意見を紹介します／

子どもたちと地域の関わりについて

- 楽しめる体験活動に対しソフト事業で助成してほしい
- まちづくりに新しい視点を取り入れるべく子どもたちに関わってもらえるようにする
- 親子で参加するイベントなど、地域を賑やかにする仕掛けが必要ではないか
- 地域活動を企画しても送迎に課題がある

健康について

- 身体の健康も大事だが心の健康が心配
- 認知症予防対策が進んでいないと感じる
- 社協のコーディネーターがおられなくなり健康づくりが停滞している
- 医師確保の予算をもっと増やしてほしい
- 塩分摂り過ぎにならないような食事の体験や意識付けが必要

農業・林業・漁業の問題点と希望について

- 農業耕作放棄地の管理対策を考えてほしい
- 林業関係は給与面が生活していくのに厳しく若い人がいない
- 腰を据えた農業施策事業をやってほしい
- 米価においてコストが価格に反映されない
- 圃場整備を進めてほしい
- 漁業の規制が厳しい

自由意見

- 浜田駅ロータリーの駐車場が少ない
- 所得格差で地域に人が帰ってこないから生活基盤を上昇できる政策を
- 地域共通商品券が2種類あり使いにくいいため使う側の意見も聞くべき
- 浜田港にかなりの投資をしているようだが、近年の漁獲高減少や市場に不安がある

＼参加された方の感想／

- 真剣に向き合ってくださりありがとうございました。
- とても楽しく話ができた。市議さんと話ができただのが良かった。初めて話す人だったので新鮮でした。
- 意見が言えて、受け入れてもらって良かった。定期的に開催されても良いと思う。
- 意見交換する中で、議員を身近に感じられた。
- 現役世代が参加できる方法、内容を検討いただきたい。



頂いたご意見への回答は、各会場に掲示します。また、浜田市議会ホームページにも掲載しています。



ぎかいポストに寄せられた意見へ回答



▶ご意見・ご要望

浜田市陸上競技場の駐車場が少ない。小学校の陸上大会の観戦の際車が入られない。

▶対応経過及び結果

駐車スペースの不足については課題があると認識しております。まずは、浜田駅周辺の有料駐車場や公共交通機関の利用もご検討いただければ幸いです。公共施設整備などの審議においては、全体的な公共施設の整備計画に配慮しながらも、利便性の向上が図られるよう強く意識して、市に働き掛けてまいります。

(総務文教委員会)

▶ご意見・ご要望

宮城県栗原市では、障がい者自立支援センターの就労支援として県、市、支援センターに加え地場スーパーマーケットと協働で買い物困難地域の支援を行っている。障がいのある方々の働く場の提供にもなっている。浜田市でもこのような取組をされてはどうか。

▶対応経過及び結果

- ご提案ありがとうございます。栗原市が始める事業は、就労支援と買い物支援を両立しようとする斬新な手法であり、当市においても参考にしたいと思います。
- 全国的な課題である買い物困難者の解決と障がい者就労支援とをつなぐ取組は有効と考えます。福祉環境委員会では「就労支援を含めた障がい者支援について」取組課題として調査・研究を進めており、市民が暮らしやすい社会の実現に向け提言作成の参考にさせていただきます。

(福祉環境委員会)

全てのご意見・ご要望と回答はHP上で公開しています。各まちづくりセンターに、意見・ご要望用紙を「ぎかいポスト」とともに設置しておりますのでご投函ください。ウェブからも受け付けております。



令和5年
日時 10月22日(日) 午後2時から

会場 浜田市議会
本会議場(浜田市役所5階)

発言
定員 10人

※応募者多数の場合、初めて申し込まれる方を優先し、抽選を行います。
※詳細は折り込みのチラシをご覧ください。

レポート



総務文教委員会

提言を経て条例制定

市は平成20年に制定した「浜田市人権宣言尊重都市宣言」などに基づいて人権尊重の理念の普及に取り組んでいますが、社会経済情勢や時代の変化の中で情報化によりネットでの誹謗や中傷など新たな人権問題が生じるに至り、市や市民、事業者の責務を明確にして互いの人権を尊重し多様性を認め合う社会の実現を目指す条例の審査を行いました。

当委員会としても、市による作業開始に先立って令和3年11月から論議を開始し、取組課題を「多様性社会の推進」と定めて計12回の論議を重ねて「社会背景」や「浜田らしさ」「社会の構成者としての責任と自覚」の表現に加え「相談体制」や「教育や啓発の促進」「審議会」の在り方の6項目を市に提言書として提出し、条例の制定に関わりました。



福祉環境委員会

市内9事業所を訪問

当委員会は、今期の取組課題を「就労支援を含めた障がい者支援について」と設定し、次の通り体系的に調査研究を行っております。

【1、2月】島根県立浜田高等学校定時制課程・通信制課程、島根県立ろう学校、島根県立浜田養護学校との意見交換

【2月】総社市および東大阪市へ事例研究視察

【3月】委員会代表質問（取組課題について）

【3月】実際に就職相談をされている事業所、職業訓練をされている就労支援機関との意見交換

【5月】企業などにおける障がい者支援に関して、2人3班で構成したチームで、1班が3事業所、合計市内9事業所と意見交換

【6月】3月に引き続き、委員会代表質問

なお、6月定例会議において、当委員会の所管事務調査として、「地方税統一二次元コード導入見送りの経過」「水道の休止件数」を調査しました。



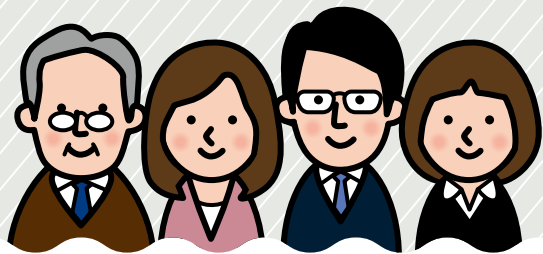
産業建設委員会

観光関連事業者と意見交換

当委員会では市内の産業関係者と意見交換会を行っています。6月には観光関連業（旅行業、運送業、旅館業）の方から、現状や問題点・課題、必要とされる支援や関わりについてお話を伺いました。

現在では、コロナ前に比べかなりの程度で回復し、個人旅行から団体旅行へと変化が進み、施設整備の遅れや従業員の不足により受け入れ困難な場合もあり課題を感じておられました。また、インバウンドの加速に対応できるPRの強化策や他市の行っている新たな施策（若者を活用しての情報発信）などが望まれました。浜田市の観光戦略として「ターゲットは高齢者だが若者の爆発的な動きは見逃せない」「観光産業の伸びしろは海外へのコマーシャル」などの意見がありました。

以上は意見交換会で取り上げられた内容の一部です。ご参加の皆さまからの貴重なご意見を委員会活動の参考とさせていただきます。



委員会活動

議会改革推進特別委員会

議選監査委員の必要性を確認

議員選出監査委員の役割と必要性の議論を重ねてきましたが、6月22日の委員会で引き続き必要であると全会一致で確認しました。監査業務と議会をつなぐ仕組みとして、決算審査を行う定例会議初日の全員協議会で議選監査委員から監査意見書などの説明を受ける形でフィードバックを検討しています。また、監査委員の任期や選出方法も引き続き検討します。

議会におけるICTの活用と推進では、現在、議会事務局から議員への連絡などはメールで行っていますが、アプリの活用による業務の効率化を検討しており、事務局の協力を得て各会派で研修を行いながら進めていきます。また、電子採決システムについては、県内6市で導入されており、今後必要性も含め、導入について検討していきます。

協働のまちづくり推進特別委員会

中間支援に関する勉強会を実施

これまで当委員会での取組で得た知見を提言に結び付けるため、協働のまちづくり推進に向けた中間支援の必要性についての勉強会を開催しました。講師は滋賀大学経済学部教授の横山幸司氏で「地域の改革と中間支援（コミュニティ・協働支援）」と題して、オンラインによる手法で、講演と質疑応答の時間を頂きました。

さまざまな地域の行政や自治組織と関わる中で実際に取組まれた「地域の活動棚卸しシート」などの興味深いお話を拝聴し、まちづくりに対する新たな視点も得られました。



「浜田市議会石見神楽振興議員連盟」を設立し 浜田の「宝」を守る！

浜田市には、50以上の神楽団体が存在しますが、この石見神楽は1970年大阪万博を契機に世界へその存在をアピールされました。そして半世紀の歴史を経て2019年には浜田で生まれた石見神楽産業などを含めたストーリー「神々と鬼たちが躍動する神話の世界～石見地域で伝承される神楽～」として日本遺産に認定されました。その後さらなる飛躍に向けて、令和4年7月には石見神楽としては初の国立劇場公演を成功させました。市長も日本遺産石見神楽を全国に向けてアピール、本物は浜田にあるとして神楽産業の育成や神楽振興の必要性を提唱されています。

浜田市の宝である石見神楽には、六調子・八調子の二本の流れがありますが、それぞれに魅力があります。浜田市議会としても、浜田市が世界に誇る石見神楽を後世にしっかりと継承する施策を検討するとともに、石見神楽を支える石州半紙、神楽面、蛇胴、衣裳などの神楽産業の浜田市文化財指定、観光戦略の核としての取組支援など、総合的な



振興策に対して全力で応援するため石見神楽振興議員連盟を令和5年1月16日に設立しました。主な取組項目として「次世代につなぐ後継者育成」「石見神楽産業の市文化財指定」「各地域神楽協議会の連合化」「石見神楽伝承施設検討提言」そして「石見神楽振興基本条例制定」などの議論を進めています。ちなみに参加議員は議長も含め全員という議会の本気度を感じていただければ嬉しいです。





議長からのメッセージ

こんにちは。議長の笹田です。

7月7日に浜田市、益田市、大田市、江津市の各正副議長、事務局長で構成する「石見四市議会議長会」が設立されました。「市政にかかる課題・懸案事項について」「議会運営にかかる課題・懸案事項について」「四市議会の情報共有および交流について」の3点を協議事項とし、開催は各市持ち回りで年に2回行います。しっかりスクラムを組んで石見全体の活性化につなげていきたいと考えています。

次に6月定例会議で追加提案された補正予算（第3号）の「通学手段確保支援事業」については、5月、6月に行われた地域井戸端会でのご意見を市へ提案し、事業化されたものです。今回の地域井戸端会は、私も17カ所で市民の皆さんのご意見を伺ったところでした。地域井戸端会については、より良い広報広聴活動になるように引き続き、協議します。これからも市民に寄り添い、信頼され、必要とされる議会となるように、引き続き21人の議員が一丸となって取り組めます。





9月 定例会議の 予定

- ・9月1日(金) 開会
- ・9月4日(月)～7日(木) 一般質問

ぜひ傍聴にお越しください。
※変更になる場合があります。

表紙について

三隅町出身の高浦浩さんの作品「響く」（一部分）をお借りしました。浜田市に寄贈された本作品は、先般、世界こども美術館で行われた「郷土のチカラ展」でも展示されました。地元にも素晴らしいアーティストがたくさんおられますね。9月末までは、森とあそぶアート展を同館にて開催中。

はまだ議会だより miniも 見てね



8月1日発行の23号はご覧いただけましたでしょうか。miniは浜田市議会ホームページにウェブ版として掲載していますので、ぜひご覧ください。

次号は10月1日に発行予定です。

次号（Vol.71）は委員改選の内容も踏まえ12月1日発行予定とさせていただきます。

編集委員

委員 長	三浦 大紀
副委員 長	村武 まゆみ
委員	肥後 孝俊
	村木 勝也
	大谷 真治
	沖田 幾雄
	川上 裕司
	小野 稔宏
	上野 茂
	川神 裕司

（記 川上 幾雄）

お暮らしてください。

私たち浜田市議会も幾多の影響を受けましたが、元に戻りつつあります。マスク着装も自由となり、素顔での議論もできるようになりました。コロナが落ち着いたら他の感染症が目立つようになりそうです。市民の皆さまインフルエンザなどには十分注意されてお暮らしてください。

コロナウイルス感染症も感染症の5類へ評価分類されて数カ月経過しました。感染症蔓延の時期に大きな影響を受けた方々も、やっと平常に近い生活に移行されているものと思います。

あとがき

★この議会だよりは一部当たり49・17円(税込)です。